

船舶事故等調査報告書

平成24年5月31日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2011仙第79号	
事故等種類	衝突（防波堤）	
発生日時	平成23年6月4日 03時30分ごろ	
発生場所	新潟県新潟市新潟港西区第2西防波堤 新潟港西区第2西防波堤灯台から真方位204°290m付近 （概位 北緯37°58.2′ 東経139°04.3′）	
事故等調査の経過	平成23年12月19日、本事故の調査を担当する主管調査官（仙台事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 漁船 ^{みょうかい}明海丸、10トン</p> <p>船舶番号、船舶所有者等 AM2-7054（漁船登録番号）、個人所有</p> <p>乗組員等に関する情報 船長、一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定</p> <p>死傷者等 なし</p> <p>損傷 球状船首部が脱落、左舷船首外板に亀裂</p>	
事故等の経過	<p>本船は、船長ほか1人が乗り組み、いか漁を終え、新潟港へ向けて約10ノットの対地速力で自動操舵により南進した。</p> <p>船長は、単独で船橋当直に就き、立って操舵室の台の上に肘をついて壁に寄り掛かって見張りを行っているうちに居眠りに陥り、平成23年6月4日03時30分ごろ本船の左舷船首部が新潟港西区第2西防波堤に衝突した。</p> <p>船長は、新潟港と漁場との往復の船橋当直及び漁場における操船を単独で行って6日間連続で操業しており、1日の睡眠時間は水揚げを終えてからの約3時間であり、睡眠不足で疲労が蓄積していた。</p> <p>本船は、自力で新潟港へ帰港した。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 南、風力 1、視界 良好</p> <p>海象：海上 平穏、潮汐 上げ潮の中央期</p>	
その他の事項	船長は、本船のレーダーに接近警報が付いていたが、頻繁に警報が鳴るので同警報を解除していた。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>本船は、新潟港北方沖を新潟港へ向けて自動操舵により南進中、単独で船橋当直中の船長が居眠りに陥ったことから、同港西区第2西防波堤に衝突したものと考えられる。</p> <p>船長は、新潟港と漁場との往復の船橋当直及び漁場における操船を単独で行い、6日間連続で操業しており、睡眠不足で疲労が蓄積していたことから、立って操舵室の台の上に肘をついて壁に寄り掛かって見張りを行っているうち、居眠りに陥</p>

	ったものと考えられる。
原因	本事故は、夜間、本船が、新潟港北方沖を同港へ向けて自動操舵により南進中、単独で船橋当直中の船長が居眠りに陥ったため、同港西区第2西防波堤に衝突したことにより発生したものと考えられる。
参考	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・眠気を催した場合は、外気に当たるなどして眠気を解消する措置をとること。 ・眠気を解消することができないときは、他の乗組員と船橋当直を交代すること。 ・レーダーの接近警報を活用すること。